



古志原小学校だより

令和6年度No.3

# えがおいっぱい

5月8日

(文責 校長 小林 敏朗)

ゴールデンウィークが終わりました。いかがお過ごしだったでしょうか？連休明けの5月7日（火）、昇降口前に立っていると「おはようございます」という元気のよい声が聞こえてきました。あいさつと言えば、4月下旬に地域の方から電話連絡をいただきました。その方は、毎朝子どもたちが登校する時間帯に家の前に出て「おはよう」「行ってらっしゃい」と声をかけていらっしゃるそうです。その方が、「今年度になって、子どもたちのあいさつがよくなってきていますね。『おはよう』や『行ってきます』を大きな声で言ってくれます。それが私はとても気持ちよくて、うれしくて電話をしました。」とおっしゃっていました。学校としてもとてもうれしく思いました。あいさつの指導はなかなか一朝一夕に成果が上がるものではないかもしれませんが、学校でも継続して指導していきます。こういうあいさつの輪が学校でも地域でもどんどん広がっていくといいなと思っています。

## 学級会の様子…そして委員会活動へ

4月から新しい学級、新しい友達と生活をする中で、学級のめあてを話し合ったり、係や当番活動を決めたり、各学級では学級会に取り組んでいます。中には早速、お楽しみ会の話し合いをしている学級もありました。どの学級も活発にアイデアや考えを出し合い、自分たちで話し合いを進めていました。昨年度、本校では、特別活動・学級活動の学級会の研究に取り組みました。その成果を今年度も継続しています。そして、その成果は学級会だけでなく、学級会の方法を更に発展させて委員会活動にも生かしています。「出し合う～比べ合う～決定する」という流れを生かしながら話し合いをしていました。学級会のみならず委員会活動にも生かし、学校生活をよりよくするため、より楽しくするための話し合いにつながっていくといいなと思っています。



4年4組の学級会



6年4組の学級会



給食委員会の話し合い

## 今年度の学校経営方針について

今年度の本校の学校経営方針についてお知らせします。今年度も引き続き、学校経営方針の大きな柱は『自己肯定感』を育む・高める』ことと考えています。私は、自己肯定感について次のように捉えています。

### 自己肯定感とは・・・

「自分は愛されている存在だ。」「自分は大切にされている存在だ。」「自分はここに存在していいんだ。」  
「自分は自分でいいんだ。」という思い。気持ち。感情。

「愛される存在」「大切にされる存在」という感情は、まずは学校・家庭・地域から愛され、大切にされる存在であることをイメージしています。このような感情は、子どもたちが今後よりよく生きていく上で最も大切な感情の一つ、基盤になるものと考えています。このような感情を育てることにより、新たなことや自分の苦手なことにチャレンジする意欲がわいてきたり、人を思いやる気持ちが膨らんだり、自分自身が自分を大切にしたりすることにつながると考えています。この自己肯定感や学校経営方針については、5月17

日(金)のPTA 総会の折に話させていただきます。学校経営方針の詳細については、以下をご一読ください。



## 松江市立古志原小学校 令和6年度学校経営について



令和6年4月

校長 小林 敏朗

津田古志原夢きぼう学園

### 1 学校教育目標

#### 未来をめざす「自立 共生 創造」

《めざす子ども像》…こしばらっ子のあいことば

#### 「えがおいっぱい」

- 本 気 (徳) …何事にも真剣で、人を大切にする子
- やる気 (知) …自ら考え、表現する子
- 元 気 (体) …たくましい体づくりに励む子

### 2 学校経営方針

#### 「自己肯定感」を育む・高める

- 子どもたちが安心・安全に生活できる学校・学級づくり
- 日々の授業づくりを中心に据えた学校・学級づくり
- 家庭や地域と連携し、信頼される学校・学級づくり

### 3 学校経営方針の具体

#### ○子どもたちが安心・安全に生活できる学校・学級づくり

- ・子どもと向き合う (聴く・受容する)

～子ども理解に努める (困り感に寄り添う・背景に目を向ける)

- ・居心地のよい学級・学校 (安心感のある居場所づくり・学びの基盤づくり)

～ルール、リレーションの確立

- ・学年部で学年全体の子どもたちを支える・育てる

学年担任制 (ローテーション道徳・朝礼・終礼・給食など) ～学級の垣根を低くする

- ・学校内外の安全管理・安全指導の徹底 (食物アレルギー対応、事故の未然防止等)
- ・子どもたちの人権を大切にする教育の推進 (全ての教育活動を通じて人権教育を基底に)
- ・安全でいじめのない集団づくり ～我々のアンテナを高く、常に磨き、そして情報共有～
- ・子どもたちのがんばりや伸びを認める、誉める (結果よりも過程に目を向ける・一人一人に活躍の場を)
- ・支援や個別の配慮を必要とする児童がいることを前提とした学級経営・授業づくり
- ・子どもたちのつながりを大切にした縦割り班活動、学校行事 (関わる、折り合いをつける、憧れをもつ)
- ・生徒指導の柱「あいさつ」「そうじ」「細かいところをきちんと (例：教室移動・整理整頓等)」

#### ○日々の授業づくりを中心に据えた学校・学級づくり

- ・授業づくり「わかった!」「できた!」の音が響く学校・学級づくり
- ・主体的・対話的で深い学びの授業づくり～教師が話す授業から子どもがしゃべる授業へ～
- ・「不易」(道徳教育、図書館活用など)と「流行」(ICT活用など)の両輪を大切にした教育の推進
- ・特別支援教育の視点からの授業づくり
- ・日々の授業づくりを通して、子どもと共に成長する教職員集団 (常に学びつづける姿勢)
- ・校内研修の充実・自己研修、自己研鑽

#### ○家庭や地域と連携し、信頼される学校・学級づくり

- ・保護者の言葉をしっかりと傾聴する姿勢
- ・保護者と共に考える姿勢
- ・子どものよさや伸び、プラス情報を多く伝える (日々の電話・連絡帳、学級通信、学校だより等)

### <お知らせ>

5月17日(金)は、今年度初めての授業公開です。併せて、PTA 総会や学級懇談を行います。お忙しいことと思いますが、お子さんの授業中の様子を見ていただき、そしてPTA 総会や懇談会にも出席していただきますようお願いいたします。



本校ホームページの  
QRコード